



Your Dreams, Our Challenge

サラセーヌ[®]AD

駐車場床防水シリーズ

駐車場床ウレタン防水システム

AD-H30FT工法／AD-H40FT工法／AD-H40FTスロープ工法／AD-立上り20T工法

サラセーヌAD-H工法

防水性・耐久性・安全性

サラセーヌAD-H工法は、高伸度・高弾性の《サラセーヌD》と高硬度・高強度の《サラセーヌH》を組み合わせたフルウレタンシステムです。

このためサラセーヌAD-H工法は、優れた塗膜物性を示し、高い下地追従性を発揮します。

特 長

強靱さ・耐久性

タイヤによる摩耗などに強い床面を形成。駐車場床としての機能を十分に果たします。

大幅な軽量化を実現

従来のアスファルト防水+押さえコンクリートに比べ、ウレタン塗膜材による露出防水工法であるため軽量化の実現とともに改修コストに大きく貢献します。

信頼性の高い防水性能

JIS A 6021 に認証された防水材の上に独自の耐久層及びグリットシステムを構築。そのため防水性能に不安はありません。

グリット仕上げ

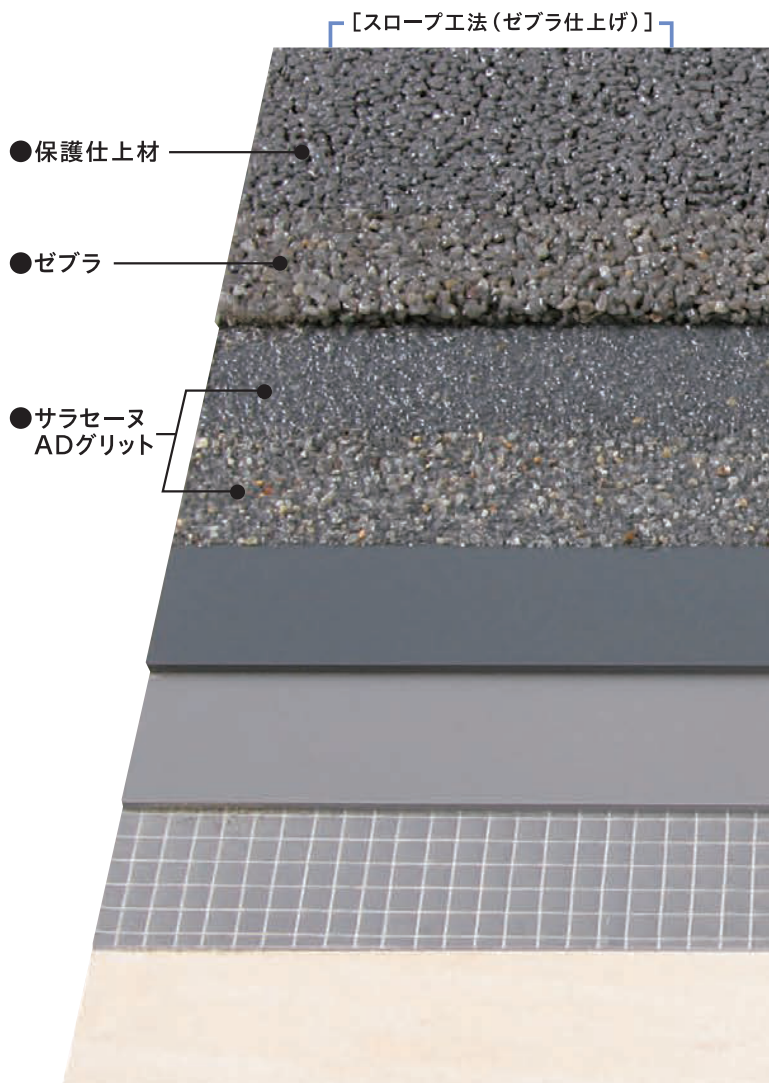
AD グリット仕上げにより、表層に凹凸がつき防滑性を高めます。

つぎ目のない美しい仕上がり

塗膜面はつぎ目がなく、一体感のあるきれいな表面仕上がりです。通行表示などペイント塗装も容易にできます。

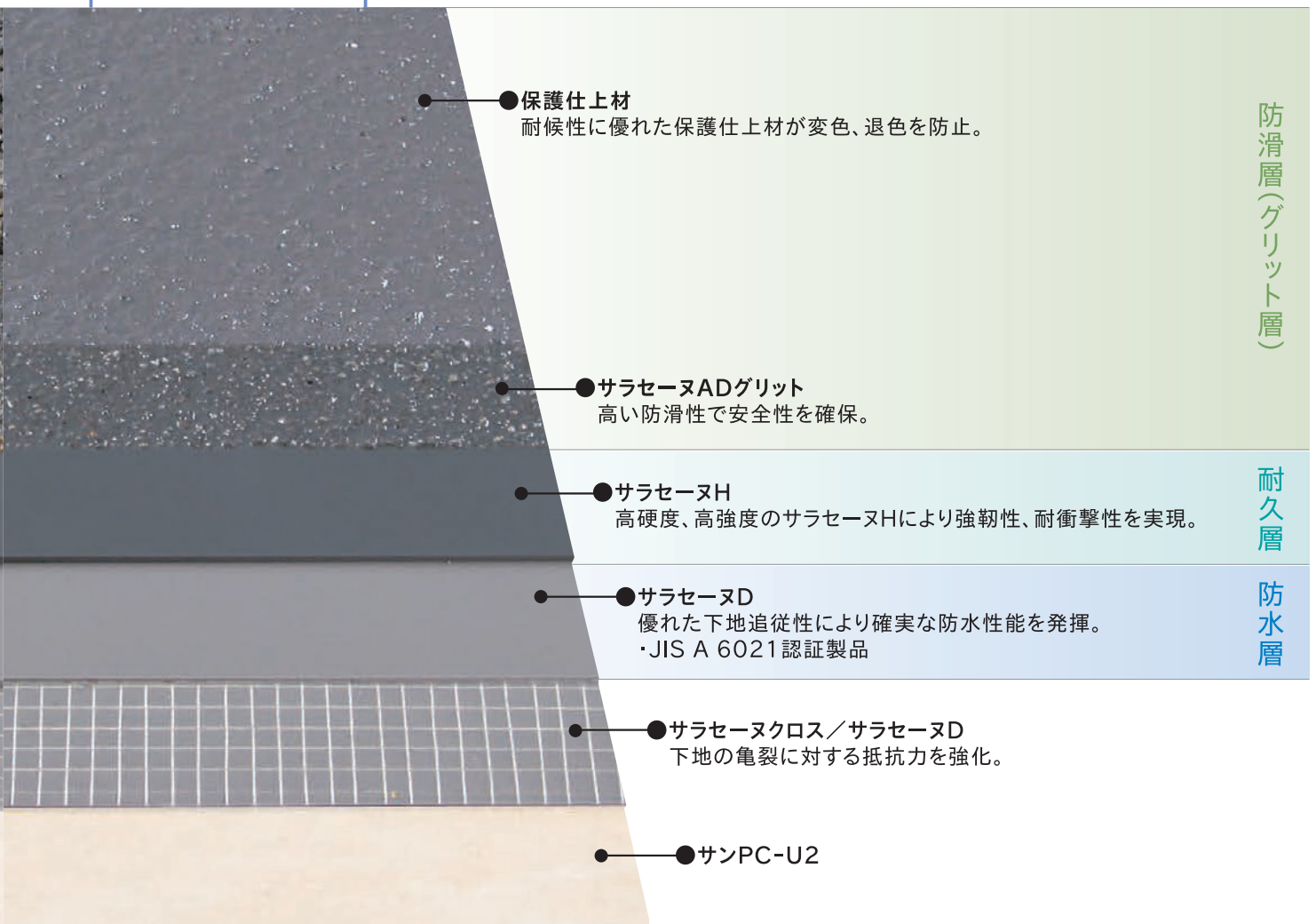
改修が容易

万一防水層が損傷した場合、露出仕様であるためその発見が容易で、補修も簡単で短時間に対処出来ます。





〔平場工法（防滑仕上げ）〕

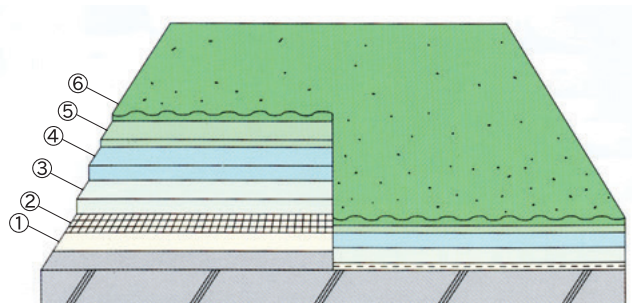


※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

サラセーヌAD-H 標準工法

AD-H30FT工法

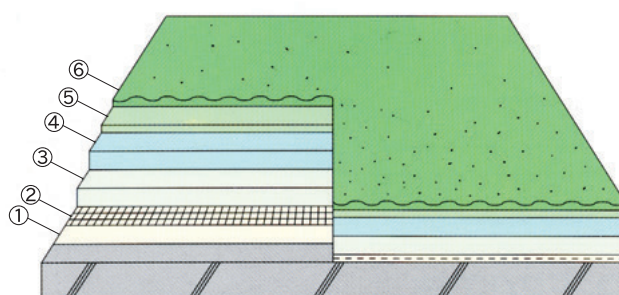
レギュラータイプの駐車場防水仕様です。
確実な防水性能と駐車場床としての機能を同時に実現します。



工程	使用材料	使用量(kg/m ²)	備 考
1	サンPC-U2	0.2	厚み 平均3mm
2	サラセーヌクロス／サラセーヌD	0.8	
3	サラセーヌD	1.2	
4	サラセーヌH	2.0	
5	サラセーヌADグリット	0.4	
6	サラセーヌFトップ	0.2	

AD-H40FT工法

ハードタイプの駐車場防水仕様です。
とくに車の動きの多い場所など、確実な防水性能とともに
より強靱な駐車場床を実現します。



工程	使用材料	使用量(kg/m ²)	備 考
1	サンPC-U2	0.2	厚み 平均4mm
2	サラセーヌクロス／サラセーヌD	0.8	
3	サラセーヌD	1.7	
4	サラセーヌH	2.5	
5	サラセーヌADグリット	0.4	
6	サラセーヌFトップ	0.2	

AD-立上り20T工法 (共通立上り仕様)

工程	使用材料	使用量(kg/m ²)	備 考
1	サンPC-U2	0.2	厚み 平均2mm
2	サラセーヌクロス／サラセーヌ立上り用	0.8	
3	サラセーヌ立上り用	1.1	
4	サラセーヌ立上り用	0.7	
5	サラセーヌT	0.2	

※詳細については、ウレタン塗膜防水「サラセーヌ」カタログをご覧ください。

AD-H30FT工法およびAD-H40FT工法にて
サラセーヌADグリットのリシンガン吹き付けができない場合は、
上記仕様の5工程目より以下の方法に変更してください。

工程	使用材料	使用量(kg/m ²)
5	サラセーヌADグリット(骨材ぬぎ)	0.35
6	サラセーヌADグリット(骨材)および珪砂4号(別売)散布	1.4
7	サラセーヌADグリット(骨材ぬぎ)	0.4
8	サラセーヌFトップ	0.2

工法手順

1

プライマー塗布

刷毛またはローラー刷毛を用いて
プライマーを規定量、均一に
塗布する。

2

クロス張り

サラセーヌクロスは、
浮きやシワが寄らないよう
防水材で張りつける。

3

防水層・耐久層施工

[平場]

サラセーヌD、Hを規定量調合・攪拌し金ごて、ゴムベラ等で
均一に塗布する。

※サラセーヌHの希釈は3%以内・サラセーヌDの希釈は5%以内

[立上り]

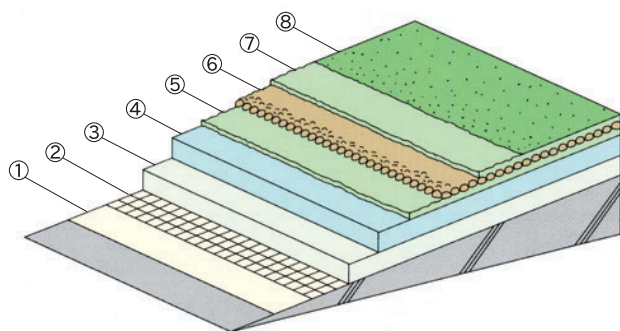
サラセーヌ立上り用を規定量調合・攪拌しゴムベラ等で
均一に塗布する。

施工上の注意点

- ・下地は十分に乾燥していることを確認してください。(ケット水分計で5%未満)
- ・横回転式研削機により、下地コンクリートはダイヤモンド研摩(研削)をし、下地コンクリートの脆弱部を完全に除去してください。
- ・保護コンクリートの場合は、目地脱気処理をして、脱気装置は伸縮目地1本に対し1箇所以上取り付けてください。
- ・下地に既存塗膜が存在している場合は、全面撤去をお勧めします。

AD-H40FTスロープ工法

駐車場でのスロープ仕様です。
スロープでの強い衝撃に耐えます。



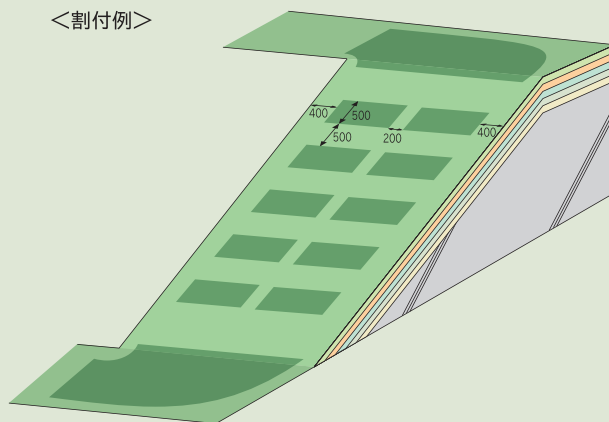
工程	使用材料	使用量(kg/m ²)	備 考
1	サンPC-U2	0.2	厚み 平均4mm
2	サラセーヌクロス／サラセーヌD	0.8	
3	サラセーヌD+TKパウダー ※1	1.7	
4	サラセーヌH+TKパウダー ※1	2.5	
5	サラセーヌADグリット (骨材ぬき)	0.35	
6	サラセーヌADグリット (骨材) および 珪砂4号 (別売) 散布	1.4	
7	サラセーヌADグリット (骨材ぬき)	0.4	
8	サラセーヌフトップ	0.2	

※1: 傾斜が急な場合は工程をふやしてください。
TKパウダーの添加量の目安は、サラセーヌDまたはサラセーヌHに対し5～10% (質量比) です。
スロープ面 (昇降口付近) およびカーブ面は、ゼブラ仕上げを標準としてください。

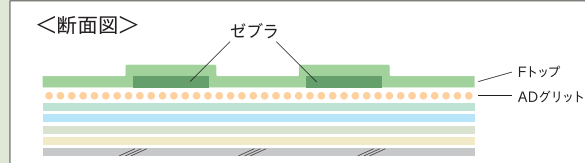
● ゼブラ仕上げ [スロープ面 (昇降口付近) およびカーブ面]

スロープやカーブなどに凹凸を設け、車両速度を抑制することで
防滑性を高めることができます。

<割付例>



<断面図>



※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

4 グリット層施工

[平場]

サラセーヌADグリットの骨材と強化剤を混合する。主剤および硬化剤を配合比に従い計量し、予め混合した骨材と強化剤に加えて攪拌機で十分に攪拌する。攪拌した材料をリシンガンで吹付ける。

注：骨材が沈降するので、時々かき混ぜてください。

注：施工条件により、吹き付けができない場所は下記[スロープ]を目安に施工してください。

[スロープ]

1) サラセーヌADグリットの主剤、硬化剤、強化剤の混合液をローラーにて0.35kg/m²塗布する。

2) 混合液が硬化する前に、サラセーヌADグリットの骨材および珪砂4号を過剰散布する。

3) 硬化後余分な砂を掃き取り、その上に再度サラセーヌADグリットの主剤、硬化剤、強化剤の混合液を0.4kg/m²塗布する。

[ゼブラ仕上げ]

1) グリット層 (フトップ施工手前) まで仕上げる。

2) 雨水の流れを考慮して、割付例を参考に施工面を割り付け、ガムテープ等で養生する。

3) 3号または4号珪砂 (30kg) とADグリット (骨材6kg) の合計36kgに対し、ADグリット (強化剤0.9kg) を混合後、配合比に従い、ADグリット主剤 (3kg) および硬化剤 (3kg) を計量し、低速攪拌機で十分に攪拌する。予め混合しておいた骨材と強化剤に混合液を加えてモルタルミキサー等で十分に混合攪拌する。

4) 1m²あたり5.6kg塗布し、金こて等で平滑に仕上げる。

注：端部は、丸面または45°程度に仕上げる。
養生のガムテープは、施工当日に撤去する。

5 保護仕上材 施工

サラセーヌフトップを
規定量調合・攪拌し
ローラー刷毛、スプレー等で
均一に塗布する。

製品に関して

■Fトップ標準色

グレー 近似色：N-45



※印刷のため実際の色とは多少異なります。

■メンテナンス

●保護仕上材磨耗

- ①P-60プライマーを塗布する。
- ②サラセーヌFトップを再塗布する。

●グリット層のキズ、微小クラック

- ①P-60プライマーを塗布する。
- ②サラセーヌADグリットを基本仕様の要領でリシンガン吹きする。
- ③サラセーヌFトップを塗布する。

●表層のすり減り

- ①P-60プライマーを塗布する。
- ②サラセーヌHを金ごて、ゴムベラで塗布し平滑に仕上げる。
- ③サラセーヌADグリットを基本仕様の要領でリシンガン吹きする。
- ④サラセーヌFトップを塗布する。

■ライン引き

●サラセーヌFトップ

白 近似色：N-95



※印刷のため実際の色とは多少異なります。

黄 近似色：25-85V



※印刷のため実際の色とは多少異なります。

橙 近似色：15-60V



※印刷のため実際の色とは多少異なります。

※隠ぺい性が低い場合は数回に分けて塗布してください。 ※アトミクス株式会社 ハードラインC-2000 もご使用いただけます。

※同一色でも保護仕上材の種類によって多少色調が異なります。

※日本塗料工業会の色票番号をもとに作成したものです。印刷のため、実際の色と多少異なる場合があります。

※納期や在庫についてはお問い合わせください。

技術資料

(当社測定値)

一般性状

項目	種類	D	H	ADグリット	Fトップ
配合比	(主剤:硬化剤)	1:2	1:1	—	2:3
硬化物比重		1.3	1.3	—	—
混合粘度	(mPa・S/20℃)	8,000	6,000	7,400	70
可使時間	(分/20℃)	80	60	32	120
初期硬化	(時間/20℃)	24	15	15	6

一般物性

項目	種類	D	H	ADグリット	Fトップ
硬さ	(タイプA)	45	95	95	HB~F※
伸び率	(%)	690	300	300	—
引張強さ	(N/mm ²)	3.6	15	15	—
引裂強さ	(N/mm)	16	75	75	—

※鉛筆硬度

基本物性

試験項目	試験方法		試験結果	
			AD-H30	AD-H40
ゼロスパンテンション試験(亀裂幅mm)	引張速度5mm/min		27	29
繰り返し疲労試験	1～5mm(5s/回)		3,650回異常なし	
耐摩耗性(摩耗減量g)	回転摩耗促進試験10,000回		6.8	7.1
滑り抵抗係数	JIS A 1407 の試験による	DRY	1.10	1.10
		WET	0.92	0.92
耐溶剤性	JIS A 5705 の試験による	ガソリン	○	○
		エンジンオイル	○	○



回転摩耗促進試験 負荷荷重 56kg
単位面積荷重 0.735N/mm²

注意事項

1. 駐車場床ウレタン防水工法の使用上の注意事項

1. 走行の際は速度制限を徹底してください。(8km/hr以下)
2. 塗膜層を損傷する恐れがあるため、チェーン装着車、除雪車、車高の低い車等は乗り入れを厳禁としてください。
3. 塗膜層が損傷するため、車の急発進、急ブレーキ、急ハンドルは厳禁としてください。
4. 塗膜層の上を歩行する場合は、スパイクシューズ等、塗膜層を損傷する恐れのある履き物で歩かないでください。
5. 塗膜層の表面が水などで濡れている場合は、滑りやすい履き物で歩かないでください。
6. 塗膜層の上で火気は使用しないでください。
バーベキュー、花火、煙草の吸い殻の投げ捨てや溶接作業等はしないでください。
7. 塗膜層の上に溶剤、ガソリン、灯油、不凍液等、有機薬品をこぼさないでください。
8. 重量物や鋭利な道・工具、硬いブラシ等を取り扱う場合は、必ず塗膜層の上を養生してください。塗膜層の上で重い箱等を引張ったり、角材等を落としたりすると塗膜層が剥離する、穴があくといった損傷を受けます。
9. 塗膜層が損傷するため、除雪時に先端の尖ったスコップ等は使用しないでください。
10. 塗膜層の上にイス、テーブル等を置く場合は、脚の設地面をゴムキャップ、マット等で保護してください。
11. 塗膜層の上で犬、猫等ペットを飼わないでください。犬、猫等の糞尿を流したり付着させたりしないでください。
12. 塗膜層の清掃には中性洗剤を使用してください。
13. クーリングタワー防藻剤、殺菌剤等は、塗膜層に損傷を与えない適切なものを使用してください。

2. 駐車場床ウレタン防水工法の維持管理のお願い

駐車場床ウレタン防水工法の防水性能を長期にわたって維持するために、次の維持管理をお願いします。

1. 定期的に清掃を行ってください。特にドレンまわり、排水溝の泥、枯葉等をよく除去してください。
2. 数年ごとに次のように表面状態の点検を行ってください。
異常が認められた場合は請負業者に連絡し、補修してください。
 - ① 保護仕上材及び防滑層が薄くなっている個所がないか、剥離している個所がないか。
 - ② 保護仕上材及び防滑層にひび割れが生じていないか。
 - ③ 塗膜層に浮き、ふくれがないか。
 - ④ 塗膜層にカラス、鳥類の穴あけの被害はないか。
3. 使用頻度・走行状況により、保護仕上材及び防滑層が著しく磨耗した場合は有償で保護仕上材並びに防滑層の塗り替え・再施工をしてください。
4. 磨耗した場合の保護仕上材およびグリットの塗り替えは有償とする。

<責任範囲>

- ① 施工に起因する場合は、工事を請け負った元請会社ならびに施工会社の責任とします。
- ② 材料品質に起因する場合は、材料製造会社の責任とします。

<免責事項>

下記の場合は、本保証の対象外となります。

- (1) 天災地変等不可抗力と認められる場合
- (2) 工事対象物の構造上又は設計上の欠陥に起因する場合
- (3) 防水施工箇所以外からの漏水の場合
- (4) 過失又は故意による防水層損傷の場合
- (5) 増改築や屋上設置物の工事等を行って、保証対象部分に手を加えた場合
- (6) 漏水を伴わない経年劣化(フクレ、シワ、変色、保護仕上材の劣化、等)の場合
- (7) 裏面の注意事項及び維持管理のお願いを遵守されていることが確認できない場合
- (8) 漏水を知ってから1年以内に通知をいただけなかった場合
[民法第637条]
- (9) 債権等の消滅時効[民法第166条]
 - ① 漏水を知ってから5年間、権利を行使しない場合
 - ② 漏水を知らず引渡しから10年間、権利を行使しない場合

施工時の安全と注意

- 子供の手の届かないところに材料を保管してください。
- サラセーヌの安全については、容器の警告表示、製品安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 製品安全データシート(SDS)については、材料購入元(販売会社)または製造元(AGCポリマー建材株式会社)にご照会ください。
- 施工に際しては、立入禁止・火気厳禁の立て札を用意し、わかりやすい所に立ててください。
- 換気の悪いところで施工する場合は、有機溶剤マスクを着用する他、十分に換気に配慮してください。
また、火気に十分注意してください。
- サラセーヌは混合・攪拌する際には、目に入らないように保護眼鏡を着用してください。
- 作業時には保安帽、保護手袋を着用し皮膚、粘膜等に付着した場合は、せっけん水でよく洗ってください。
- 施工後はよく手を洗い、十分にうがいをしてください。

材料一覧／消防法関係

	品 名		荷 姿	消防法関係		特 長 ・ 用 途
				危険区分	液比重	
プライマー	サンPC-U2	主剤	9kg	4類1石(非水溶性)	1.28	エポキシ変性ウレタン系 モルタル・コンクリート下地、金属下地用(2種ケレン)
		硬化剤	9kg	4類1石(非水溶性)	0.98	
ウレタン材料	サラセーヌD	主剤	8kg	4類4石	1.06	平場用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形平場用認証製品 主剤:硬化剤=1:2
		硬化剤	16kg	指定可燃物可燃性液体類	1.60	
	サラセーヌ立上り用	主剤	8kg	4類4石	1.06	立上り用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形立上り用認証製品 主剤:硬化剤=1:2
		硬化剤	16kg	指定可燃物可燃性固体類	1.60	
	サラセーヌH	主剤	8kg	4類2石(非水溶性)	1.07	平場用 高硬度・高強度ウレタン塗膜材 主剤:硬化剤=1:1
		硬化剤	8kg	4類4石	1.66	
	サラセーヌADグリット	主剤	3kg	4類2石(非水溶性)	1.07	サラセーヌAD-H工法用 防滑仕上材
		硬化剤	3kg	4類4石	1.66	
		骨材	6kg	-	-	
		強化剤	0.9kg	4類2石(非水溶性)	0.88	
保護仕上材	サラセーヌFTopp ※1	主剤	2kg	4類2石(非水溶性)	0.93	アクリルウレタン系床用保護仕上材 主剤:硬化剤=2:3
		硬化剤	3kg	4類1石(非水溶性)	1.20	
	サラセーヌT ※1	主剤	6kg/2kg	4類2石(非水溶性)	0.94	アクリルウレタン系保護仕上材 主剤:硬化剤=2:3
		硬化剤	9kg/3kg	4類1石(非水溶性)	1.20	
副資材	ウレタン希釈剤	1成分	16L	4類2石(非水溶性)	0.87	ウレタン防水材専用希釈剤
	ウレタン硬化促進剤	1成分	4kg	4類2石(非水溶性)	1.11	ウレタン防水材用硬化促進剤
	TKパウダー	缶	5kg	-	-	ウレタン防水材用増粘剤
	サラセーヌクロス#2000	幅×長さ	1m×100m	-	-	補強用ガラス繊維織布(平場・立上り兼用)
	サラセーヌクロス#4000	幅×長さ	1m×50m	-	-	補強用ポリエステル繊維織布(平場・立上り兼用)
	SRステンレスベント	箱	2個	-	-	脱気装置(逆流防止弁付き脱気筒)
	サラセーヌSUS304脱気筒	箱	2個	-	-	脱気装置(脱気筒)
	SRパラベント	箱	10個	-	-	脱気装置(逆流防止弁付き脱気盤)
	サラセーヌ立上り用脱気盤	箱	5枚	-	-	脱気装置(立上り用脱気盤)

※1 特注色の場合は日塗工色見本帳の色番号でご注文ください。

特注色の色によっては、調色できない場合や隠ぺい性が低い場合がありますので、予めご了承ください。

溶剤希釈注意!!

サラセーヌHは、必ずウレタン希釈剤(キシレン)を使用し、推奨している希釈率3%以内を遵守していただくようお願いいたします。

AGCポリマー建材株式会社

首都圏支店 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-3-8(沢の鶴人形町ビル) TEL:03-6667-8421
 仙台営業所 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡2-2-10(セントールビル) TEL:022-299-6371
 名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦2-19-25(日本生命広小路ビル) TEL:052-219-5491
 大阪営業所 〒550-0013 大阪市西区新町3-11-3(高六大阪ビル) TEL:06-6606-9910
 九州営業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-12-10(第7グリーンビル) TEL:092-431-5154
 北海道出張所 〒060-0061 札幌市中央区南1条西9丁目(株式会社三田商店内) TEL:011-241-5120

